



【学校教育目標】

かしこく・やさしく・たくましく
～自分で考え、自分から動く～

【めざす子どもの姿】

- 進んで学ぶ子
- 人を大事にする子
- 元気にがんばる子



3学期スタート！ 1年間のまとめに向けて・・・

新しい年が始まり、半月が過ぎました。年末年始はどのように過ごされたでしょうか。子どもたちも家族とゆったり過ごして冬休みに充電し、新年の決意を胸に、笑顔で登校してきました。3学期始業式は、寒さ対策と今後のコロナウイルス対策もあり、リモートで行いました。いつもとは違う雰囲気でしたが、新学期の決意を新たにしたいようです。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、3学期はあっという間に過ぎていきます。卒業・修了までの一日一日を大切に過ごし、自信をもって進学・進級できるよう、教職員一同、今年も精一杯支援していきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



12月 大掃除

学校での 一コマ



体育の授業(1・2年)



12月 校内研究授業(4年)



全校清掃指導



校内研究授業(3年)



体育集会(8の字とび)



とんど集会



お飾り作り

例年、地域の方を講師にお招きして12月にお飾り作りをしていましたが、今年度は形を変えて実施しました。

先生たちが子どもたちに教えるために、事前に地域の草地博之さんと久成美子さんに研修してもらいました。初めて縄をなう先生もおり、四苦八苦しながらお飾りの作り方を習いました。

「ほんとに大丈夫かな…」と不安に思っていたのですが、6年生の大活躍により、先生たちの出番はほとんどありませんでした。さすが6年生！今までの経験を生かしたすばらしい手つきでした。下学年の子どもたちも熱心に教えてもらい、根気強く取り組みました。久成さんにいただいた南天や稲穂を使って、一人一人が満足のお飾りを仕上げました。



6年生の
優しい
指導



すてきな
お飾りの
完成！



校内給食週間

学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に、毎年1月24日から30日までの1週間が全国学校給食週間に定められています。

津賀小学校でも1月18日(月)～29日(金)を校内給食週間とし、学校給食の意義と役割について関心を高めたり、食べ物を大切にし、学校給食を作る人々に感謝する気持ちを高めたりするための取組を行います。



主な行事予定

※変更の可能性もあります。

日	曜	予 定
1	金	元日 閉庁日 冬休み(~6日)
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	始業式
8	金	発育測定1年
9	土	
10	日	
11	月	成人の日
12	火	登校指導 発育測定2年 元気もりもり週間(~20日)
13	水	集金日 発育測定3年
14	木	発育測定4年 委員会活動
15	金	発育測定5・6年 とんど集会
16	土	
17	日	
18	月	校内給食週間(~29日)
19	火	
20	水	参観日・学級懇談
21	木	サッカー教室5・6年
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	登校指導 音楽朝会 教育相談週間(~29日) S C
26	火	給食集会
27	水	
28	木	委員会活動
29	金	
30	土	
31	日	

2月の主な予定

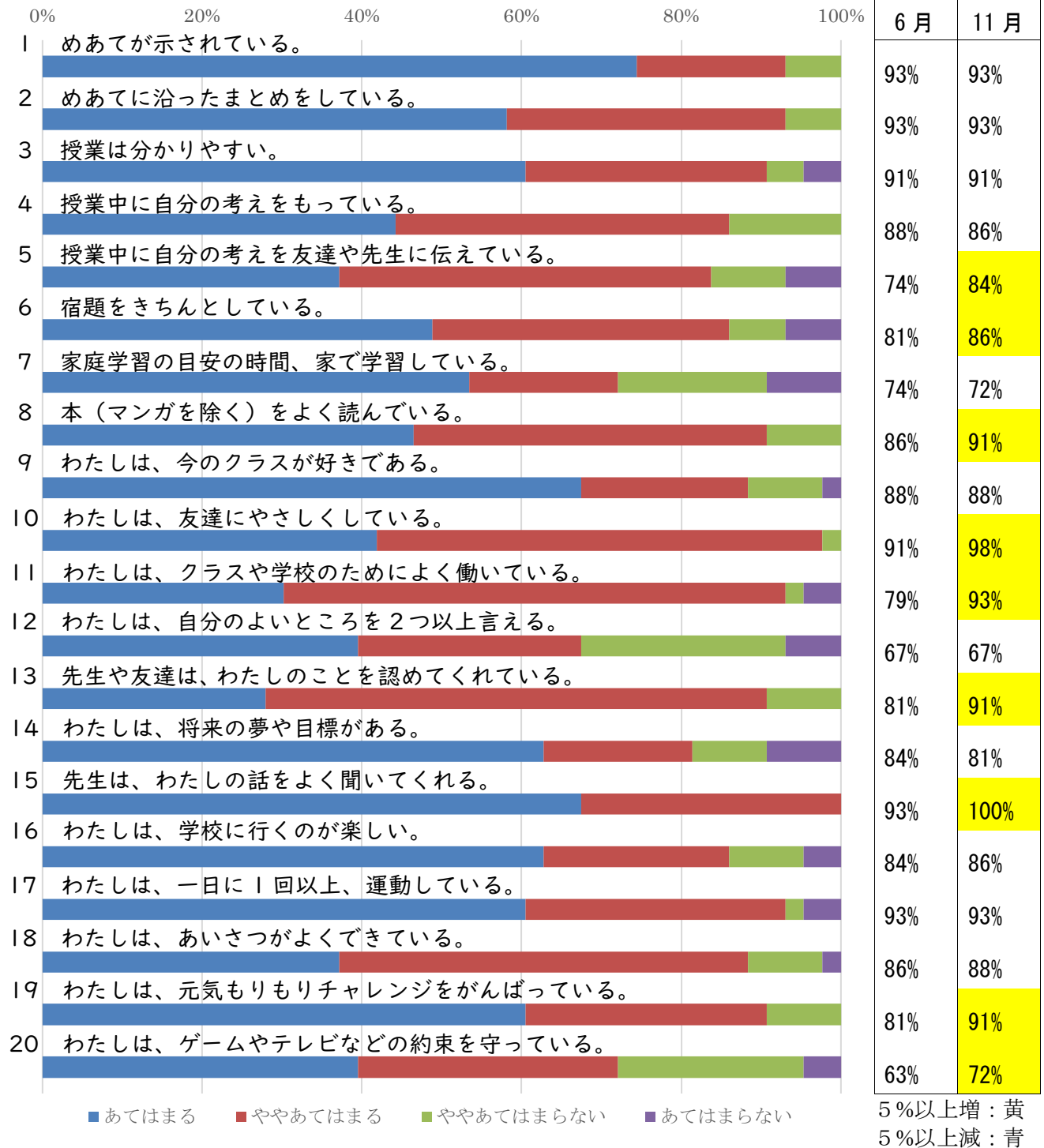
- 3日(水) 集金日
- 4日(木) 加賀中新入生説明会(6年)
- 12日(金) 新1年生体験入学・説明会
- 18日(木) 校外学習(4年)
- 25日(木) 参観日・全体会・学級懇談



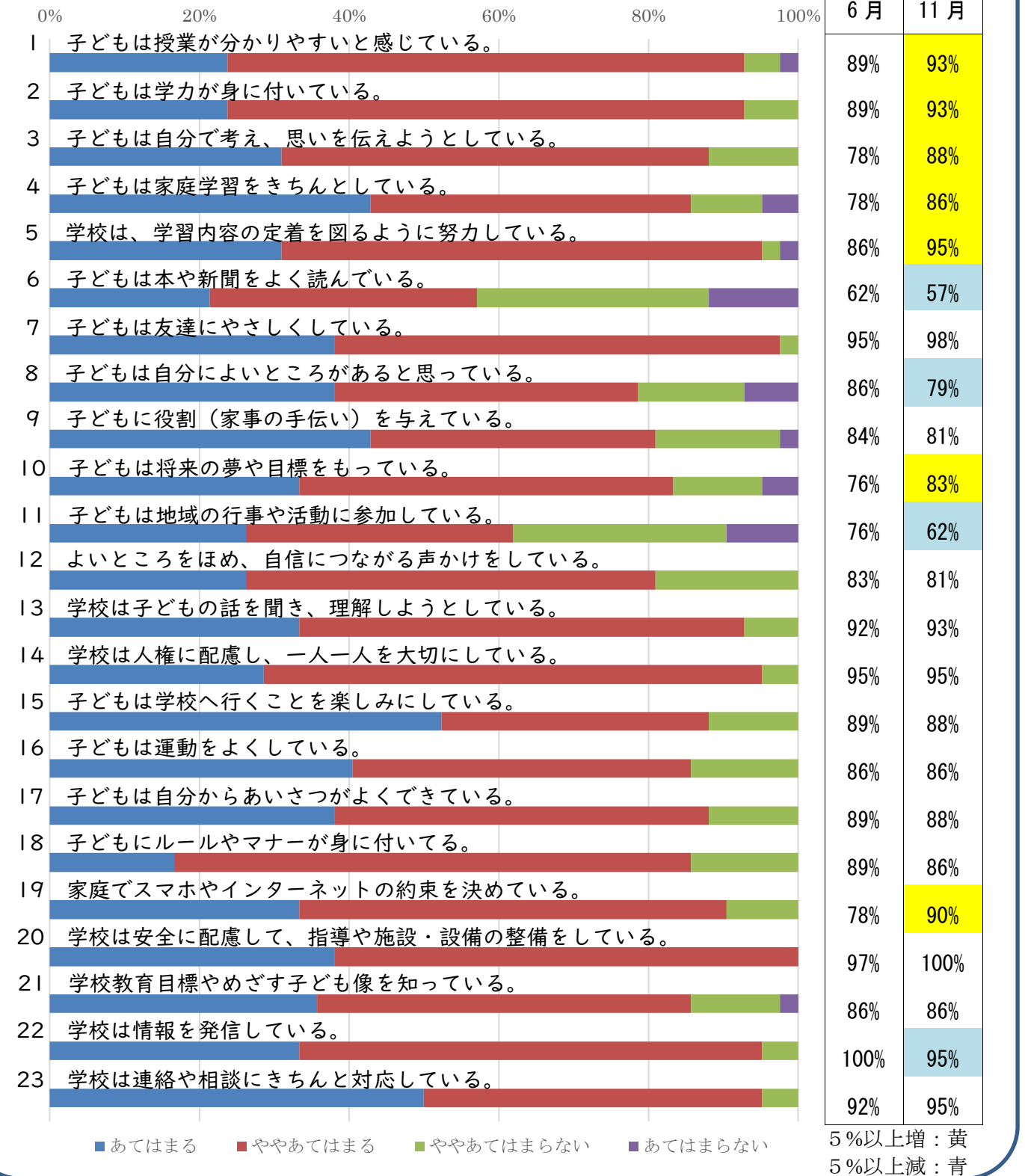
毎月第3日曜日は家庭の日です。
家庭の日には、家族そろって夕食等を共にしましょう。

11月学校教育アンケート結果

<全校児童>



<保護者>



11月に2回目の学校教育アンケートを行いました。保護者の皆様、お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございました。

児童・保護者共に、1回目同様、多くの項目で「あてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答をいただきました。さらに、1回目より肯定回答率が上がった項目も多く、ご家庭や学校での取組の成果が伺えました。特に児童の「5 自分の思いを伝えている」「11 みんなのためによく働いている」「13 先生や友達が認めてくれる」「19 元もりをがんばっている」や、保護者の「3 子どもは思いを伝えている」「10 将来の目標や夢をもっている」「19 スマホやネットの約束を決めている」については、1回目より10%以上も肯定回答率が上がりました。

反面、肯定回答率が下がった項目もあり、今後の取組が必要です。特に「よいところがある」は、児童の肯定回答率は67%と低く、保護者の肯定回答率も前回から7%減で、全体の80%を下回っていることが気になります。子どもたちの自己肯定感・自己有用感は引き続き大きな課題と言えます。「地域の行事への参加が下がったのは、コロナウイルス感染症の影響が大きいのではないかと思われます。読書については、児童と保護者の意識に差が見られます。

今年度のアンケート等、皆様からのご意見を真摯に受け止め、児童がよりよい教育活動を享受できるよう、学校改善を進めていきます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。